

# わたしのこんな暮らし方



いきいきと活動する茅ヶ崎の人たち。そんなみなさんによる「茅ヶ崎暮らし」の一例をウェブマガジン「#ちがすき」や市広報番組「ハーモニアスちがさき」からご紹介します。

## 山口陽平さん



サーフィンをこよなく愛するヨガインストラクターの山口陽平さん。「ヨガとの相性が抜群」と語るここ茅ヶ崎で、かけがえのない家族との時間を過ごしています。

父の急逝を機に茅ヶ崎へ。「気を落としていた母がすごく元気になって、フラダンスやウクレレも始めました。周りに暮らす方が茅ヶ崎についていろいろ教えてくれて、すぐに僕たちを受け入れてくれて。他のまちにない人のやさしさや大らかさを感じました。暮らしを豊かにしてくれる人が身近にいて、毎日が充実しています」

3歳の息子さんに対しても、「ご近所さんがみんな息子のことをかわいがってくれます。人との距離が近くて、店や海に行けば仲間が集う安心感がある。まるで昔からの友だちと青春の延長を過ごしているような気分です」家族でよく行く場所はやはり、海。「自転車で行って、『今日も最高だね』と話しながらサンセットを見

茅ヶ崎で大切な家族と  
“ヨガ的”に暮らす

るのが一番幸せな時間です」

フリーのヨガインストラクターとして、東京や神奈川県内各地、自宅でレッスンを行っている山口さん。「茅ヶ崎に帰ってきて息を吸い込むとリラックスして、自分のチャンネルに戻れます」

山口さんは以前、海岸で流木に腰を下ろして手をつなぐ老夫婦を見たそうで「家族への愛や、大切なものへのリスペクトを素直に表現できるオープンなカルチャーが根付いています」と話します。今後の目標は「茅ヶ崎をヨガとサーフィンの聖地にすること」。「茅ヶ崎への愛をヨガで表現して、浸透させたい。そして、茅ヶ崎をピースフルで愛のあふれたまちにしたいですね」

記事全文は  
#ちがすきで



## 酒井 隆多さん・里美さん



酒井隆多さんと里美さん夫婦は、地域との関わりを大切に、さまざまな年代の人たちと交流しながら茅ヶ崎での暮らしを満喫しています。

「伊勢原市から転入してきて、誰も知らないまちでの子育ては孤独に陥ってしまうことも多いので、積極的に公的なサービスを利用するように心がけていました。いろいろな場所に顔を出してリピートしていくうちに知り合いもできました」と子どもを介して、ご近所さんとの付き合いも、交友関係のネットワークもぐんと広がりました。

公的サービスなどを上手く使いながら子育てをしていた里美さんは、自分も誰かをサポートしたいと思うようになり、茅ヶ崎の北側を活性化させるためにさまざまな活動を行う「GENKIプロジェクト」の創設メンバーに。実際に活動するうちに横のつながりの大切さを実感したそうです。「子育て中に孤独感を感じるような時に、気軽に悩みを聞いてもらえたり、

## 子育てを通じてつながり作り心地よく自然体な生活

お母さん同士がつながれる場所として利用したりしてもらえたらとてもうれしいですね」

現在、2人の子育て中の酒井さん夫妻。隆多さんは「近所の公園でのパパ同士の会話がきっかけで、互いの家を行き来するような仲間になったこともあります。近隣のパパたちとも仲良くなって、たまには男同士グチを言い合ったりしたいな(笑)」とにこり。「茅ヶ崎は、新しく入ってきた人に対してもウェルカムな雰囲気があったり、お年寄り子どもとの自然な交流があったりして、気さくな人が多い。あと、みんな地元が大好きという共通点もあるよね」と隆多さん。2人でゼロからていねいにつくってきた茅ヶ崎ライフはとても魅力的です。

記事全文は  
#ちがすきで



## 茅ヶ崎の魅力を詰め込んだプロモーション動画が完成！

「#ちがすき」の取り組みの一環として、茅ヶ崎で暮らす人々を紹介するプロモーション動画「Chigasaki Life」を製作しました。紹介した山口さん、酒井さんも出演しています。



①自分らしく笑顔で



②海を感じながら心身ともにヘルシーに



③身近な自然や人とのつながりを楽しむ



## 波が生む 一瞬の美に魅せられて

「サーフフォトグラファー」として波が見せる一瞬の表情や海岸で出会ったサーファーを撮影している西川雄斗さん。防水カバーを付けた一眼レフを手に海に入り、身体ひとつで撮影します。

「自然が相手なので想定ができない難しさがありますが自分のイメージを超える作品が撮れた時は最高にうれしい」と目を細めます。

会社勤めの傍ら、独学でカメラの腕を磨き、転勤で2019年に京都から川崎へ。その後「もっと海を身近に感じたい」と茅ヶ崎へ移住しました。「自転車を少し走らせれば海を眺めてリフレッシュできるし、とても過ごしやすいですね」と今の生活を満喫しています。



記事全文は  
#ちがすきで

サーフフォトグラファー 西川 雄斗さん



フラワーキャンドルデザイナー 安永 かおりさん



## 廃棄花に 新たな命吹き込む

花屋で売れ残った切り花や、結婚式場で使用されたブーケ、イベント会場の装飾など、役割を終えた花に新たな命を吹き込み、廃棄される花を減らそうと尽力しているのが安永かおりさんです。

2016年にオリジナルブランド『moani(モアニ)』を立ち上げ、廃棄花やドライフルーツを色彩豊かに詰め込んだ「ボタニカルキャンドル」やブーケ、スワッグ(壁飾り)の制作、ワークショップや教室を主宰しています。

今は2児の母としても奮闘する安永さん。「茅ヶ崎に移住して、肩の力が抜けた気がします。花を『捨てる』のではなく『生かす』文化をここから発信していきたい」



記事全文は  
#ちがすきで



茅ヶ崎ライフスタイルWebマガジン

# #ちがすき

## CHIGASUKI

ちがさが好き  
ちがさがをもっと好きに

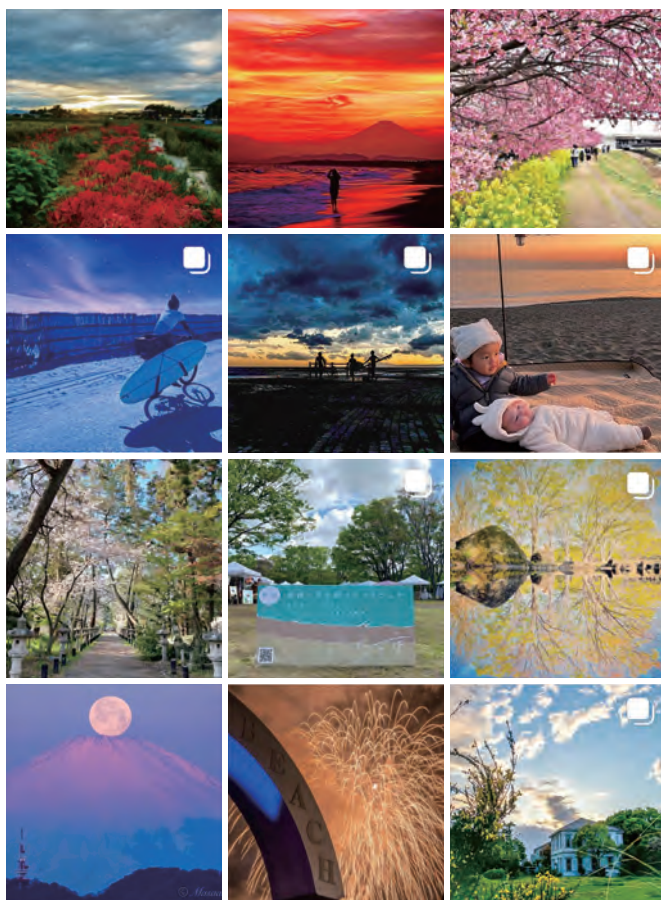


アクセスはこちら

『#ちがすき』では、茅ヶ崎をより楽しみ、もっと好きになるプロモーションWebマガジンとして、住人インタビューをはじめ、イベント・働き方・住まい・子育て・グルメ・観光情報など、茅ヶ崎の魅力を発信しています。

#ちがすきは「茅ヶ崎暮らし」を応援する  
パートナー企業の協賛によって  
運営されています

パートナー企業の  
特別インタビューは右の  
二次元コードから



### あなたの「#ちがすき」を 投稿してください！

ご家族で出かけたとき、  
近所をお散歩しているとき、  
一人でぼーっとしているとき…  
茅ヶ崎で撮影した写真や動画を  
Instagramに投稿する際には、  
ぜひハッシュタグ「#ちがすき」を  
付けてください！

写真をもっとご覧になりたい方は  
#ちがすき でInstagram検索！

🔍 #ちがすき

